

1 教師の基本的な構え

私たちは、一人一人の違いを前提に、全ての子どもたちが「自分らしさ」を発揮して学んだり経験したりすることを通し、その子の可能性が引き出され、成長できるような指導・支援を目指します。

そして、配慮が必要な子どもを含めた全ての子どもたちが、「分かる・できる」授業づくりを目指します。その際、子どもとの信頼関係は欠かせないものです。

では、信頼関係が構築されると、子どもはどのような思いをもつでしょうか。「先生は私たちのことを大事にしてくれている。私たちを成長させようとしてくれている。」

「先生の授業や学級は安心感がある。」

「困ったら先生に相談できる。」

「真剣に耳を傾けたり叱ってくれたりして、私たちを守ってくれる。」

「先生と一緒にいろいろなことがしたい。」

「先生は一生懸命だ。」

「分かる・できるようになる授業をしてくれる。」

一方、子どもがこのようになるには、教師の思いだけではなかなか至りません。

授業づくりや子どもたちとのかかわりに、生徒指導やユニバーサルデザインの視点を内在化させ、児童生徒理解に基づく信頼関係を構築していくこととともに「主体的・対話的で深い学び」を実現していくことが大切です。これまでも新潟市で大切にしてきた「授業と生徒指導の一体化」を追求していきます。

